



水戸市男女平等参画基本条例の啓発と
男女平等参画社会の形成と促進のために

WAVE

第10号

発行日：平成26年5月31日

発行：特定非営利活動法人

M・I・T・O 21

〒310-0851 水戸市千波 508-34

発行責任者：黒澤輝子

6年目を迎えて心新たに・・・

理事長 黒澤輝子

早いもので一年があっという間に過ぎていきます。

今年はNPO法人M・I・T・O 21の活動も6年目を迎えます。去る5月18日、総会を開催しました。会員皆様の協議のもとに本年度の事業が順調にスタートしたところです。

本年度は役員改選にあたり審議の結果、今期もまた理事長としてこの会の運営に携わることとなりました。微力ではありますが皆様のご協力を戴きながら進めてまいりたいと存じます。変わらぬご支援・ご協力のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。



私どもが力を入れている事業のひとつに水戸市からの委託事業であるヒューマンシンポジウムがあります。企画運営の委託をうけての事業は責任あるものです。何かと大変なこともあります。力を合わせて1つのことを成し終えた後の達成感・満足感は何とも言えないものがあります。ヒューマンライフシンポジウムをはじめ、いろいろな企画の中でその喜びを味わうことができたらと願ってやみません。今年も心を新たにしてはじめてみましょう。

理事長 黒澤輝子
副理事長 兼子千恵子
副理事長 田山和子
理事 田山知賀子
理事 大森三男
理事 木内令子

理事 大内晴江
理事 椋崎ひろ子
監事 小口秀久
監事 安久正倫

26年度、27年度を10名の役員で進めることになりました。長く監事としてご活躍頂きました星会員から安久会員へ監事が交代になりましたが、皆様には変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。





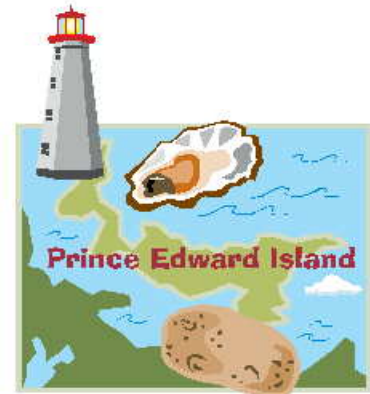
青山さんをかこんで茶話会

平成 26 年 2 月 13 日(木曜日)

女性行政を当初から担当し、初代男女共同参画推進室長を務められた青山敦子さんが6年前にカナダに移住して、B&Bブライトハウスを開業されました。昨年暮れより帰国しておりましたのでカナダから見た日本とのちがいをなどをお聞きました。

青山さんは55歳の時に早期退職され、ご夫婦でカナダという国に移り、英会話上達のため学校に入り、またパートナーがビジネススクールで学んでいたところ、たまたまゲストルームが5部屋ある西洋民宿の物件がプリンスエドワード島の中心となる良い場所にあり、買い取ることになる。開業するまでに、出会ったカナダの人々(腕のいい大工さんや、不動産を登記するにあたり、移住して行政書士の仕事をされている女性)、国籍、年齢、男女などの差別なく資格試験に挑戦する姿、カナダの社会で資格を活かして働く彼女に感銘を受けたこと、先々の財産管理のため遺言書まで作るという堅実な考え方に納得したりなどの話に夢見る赤毛のアンに。。

1. 医療制度・基本医療は無料(歯科、眼科、処方箋は有料)、制度の持続可能性のため、医療費抑制策も並行
2. 教育制度・高校までは教育費は無料である。
中学生から社会参加を積極的にしている。大学は自ら学費負担、一度社会に出て目的を見つけ、学び舎へ
3. 年金制度・報酬比例制度(CPP)：総額額に応じた掛金の支払い65歳から支払い
老齢年金(OAS)誰でももらえる年金：掛金なし(全額税負担)65歳から支払い(ガバメントサポート)がある。
4. 老人福祉制度・65歳から優遇施策、老人ホーム入居費の補助
5. 消費税・高い消費税(国5%+州8~10%)
低所得者対策としての軽減税率制度や還付制度がある。
6. 積極的な移民政策と多文化主義・アメリカとの違い
年間20~30万人の移民の受け入れ、憲法に基づく多文化主義
7. 差別のない労働環境・法による雇用差別の禁止
労働組合の取り組みで同一労働同一賃金制度が定着
8. やりなおしのきく社会・キャリアアップヘトライアルが当然。
企業、大学、カレッジ、社会が人生のやり直しを後押し。



『日本人の日本人のための西洋民宿』を開業するにあたり、ホテルマネージメント学科の教授からもサポートを受け、朝食は10種類以上のメニューでもてなすオーナー夫妻。10連泊のお客様でも同じ献立のものは出さない。春から秋まで予約客が埋まっており、ゲストに対し最高のおもてなしをご夫婦でなさっている様子、シーズンオフのバカンス(帰国や旅行)が楽しみということ。(ブログからの情報..)

9. 助け合う社会・寄付や助け合いが当たり前の慣習、東日本大震災でも気遣いを受ける。赤十字をはじめ、民間の支援団体が日々ボランティア活動に専念。フードバンク、サルベージンアーミー(救世軍)
10. 家庭内の男と女の役割・一般的なカナダ人男性は家庭でよく働く(フルコースのディナーの調理補助)、離婚後も共同で子育て、非婚率が高い(ソーシャルセキュリティ、シングルマザー) 最低限度のセーフティネットがある。

様々な経験の中から、他の人にてできないことを実践されて、カナダで日本文化を広め、日本の良さを実感されていらっしゃる青山敦子さんのお話に引き込まれ、アツという間の時間でした。

特別寄稿『黄門さん・青空マーケット』を運営して

黄門さん・青空マーケット実行委員会代表 大橋 章

平成 21 年 2 月 21 日南町自由広場オープンの日を第 1 回として始まった「黄門さん・青空マーケット」は NPO 法人 M・I・T・O 21 の皆さんをはじめ、大勢の人々のご協力を得ながら 88 回で終了となりました。

—南町自由広場暫定活用の次に来るものは—

にぎやかに開催したマーケット

この青空マーケットは広場開設当初より MITO21 の皆さんと力を合わせ「まちなか賑わい創出」の試みでしたが、大勢の参加者との出会いや、得難い体験など様々学ばせて頂いたことに心から感謝申し上げます。

今回の青空マーケットが開かれておりました南町自由広場、私事ではありますが、あの場所が唯一私の生まれ育ち暮らしのあった場所、とは言え懐古の情などはありませんが、私なりにあの場所を基点としていく様にも変わる街の姿を見続けてき、またこれからも変容するであろう街に、思いは果てません。

もはや戦後ではないと言われた 1960 年代も過ぎ、所得倍増、高度成長と日本中が好景気に沸きかえるさなか、私ども近隣 4 店舗は 1971 (昭和 46) 年共同で地下 1 階地上 8 階の再開発ビル(東水ビル)を建て、東急ストアを誘致、10 年を経て大手スーパーのユニーにテナントを替え、過熱景気も 1980 年後半で崩壊し、頼みのユニーも 1993(平成 5)年には業務不振を理由に撤退、以後 14 年間東水ビルは再開を果たせず 2006 年 3 月(平成 18)隣接の田原屋ビルとともに再々開発を託して住友不動産に売却、翌夏ビル解体終了から 1 年半ほど経過の後、仮活用として 2009(平成 21)年の 2 月末に市の管理のもと、街なか賑わいづくりの多目的広場として「南町自由広場」が開設され、暫定活用開始となったところです。



まだ東水ビルと時を同じくして大手スーパーをはじめ中・大型店は中心街に集中出店、商都水戸の繁栄は将来への約束がなされたかのような一時代を築いたのですが、1985 (昭和 60)年つくば科学博頃をピークに立地産業と言われた商業も車社会、生活様式の多様化、立地の多元化など様々な要因で急激に変化、中心街からは大型店が揃って撤退、それに伴う街なか空洞化現象は都市形態の均衡まで危うくさせております。

しかしながらこれらの空洞化によって発生した未利用地は、潜在する都市魅力による居住拠点として価値が見直され、商業と住居の複合化構想による再開発が中心街各所で具現化される中、これらの実現は新たな中心街再生へ向けての大きな原動力であり、地区人口の増加は多様な都市機能充実への必須要因として重要な要素であり、市はもとより私ども商店街、MITO21 の皆さん、そして多くの方々と手を携えもう一度、暮らし豊かな水戸の街を目指そうではありませんか。

水戸市内で活動する NPO・ボランティア団体などの市民活動団体が大集合!!

活動展示・発表のほか、相談や体験ができるフェスティバルです。



こみっとフェスティバル みと協働大作戦!2014

2014. 2月15日 10時から16時まで

イオンモール水戸内原 において

水戸市のまちづくりを盛り上げたい!!

子育てや介護の悩みを聞いて!

ボランティアに参加するには、どうすればいいの?

NPO 団体や市民活動している団体と、茨城大学の学生さん、水戸市サブリーダーズ連絡会、水戸市社会福祉協議会、水戸市障害者(児)福祉団体連合会の協力でステージ発表、市民活動相談・交流コーナー、体験・物販コーナーで日頃の活動の成果を PR、多くの来場者に市民活動の紹介をしました。

=MITO21 まめな暮らし方講座= 3月14日



畑の牛肉と言われる大豆は料理するには手がかかりすぎが難点?でもたまにはみんなでワイワイガヤガヤ大豆を料理してみようとみと文化交流プラザ 3F 調理実習室に18人の男女が集まりました。



メニューは黒豆ご飯(黒豆入り炊きこみご飯)

水戸市内で生産した大豆を使用した納豆で作る納豆餃子、納豆春巻、水戸市内生産の野菜を中心にしたサラダ、味噌汁(味噌も水戸産大豆の手作り味噌)、山形県の秘伝の大豆を使用した“豆腐”ができる予定でしたが、準備不足のため時間切れで豆腐にならず、おからだけはたっぷりできて、おからの炒り煮(卵の花)を作りました。黒豆は炒った豆でお茶を作り、その豆をご飯に炊きました。大豆はたっぷり用意しましたが、時間が足りず、次の機会にリベンジしたいです。参加者の皆様のご協力に感謝です。

編集後記 今まで本法人ではポスト日本女性会議 2001 みとの組織以来、年度の表記を西暦にしてまいりましたが、今年度から和暦の表記にし、県その他の提出書類との整合性をはかることになりました。

ヒューマンライフシンポジウムなどの開催につけられた年度事業については2014と表します。分かりづらいことは分かりやすく修正をしながら事業を進めます。今年度は水戸市男女平等参画センターが耐震化工事のため、活動拠点が変わり、屋外の活動も多く取り入れる予定です。今後とも会員の皆様には多くの市民にご参加のお誘いをよろしくお願い申し上げます。事務局